

## 令和4年度 事業報告（案）

1. 沖縄会運営委員会（令和4年6月14日） Web開催
2. 沖縄会定期総会（令和4年6月23日-7月20日）書面開催

## 3. 講演会・シンポジウム等の開催

【講演会】コンクリート構造物の品質確保・ひび割れ抑制と生産性向上

特別講演 細田 暁 横浜国立大学大学院 教授  
講演 風間 洋 アール・アンド・エー 代表

※CPD, CPDS 対象講座として実施.

開催日：令和4年9月8日 14:00-17:00

場所：沖縄県立博物館・美術館

参加人数：72名

【シンポジウム】沖縄復帰50周年記念シンポジウム

## 第1部

特別講演 吉岡 幹夫 国土交通省 技監  
神谷 大介 琉球大学 准教授  
高良 倉吉 琉球大学 名誉教授

## 第2部

講演 矢吹 哲哉 琉球大学 名誉教授

## トークセッション

コーディネーター 下里 哲弘 琉球大学 教授  
パネリスト 糸野 真一郎 沖縄総合事務局開発建設部 企画調整監  
前川 智弘 沖縄県土木建築部 土木整備統括監  
宮田 龍太 琉球大学 助教  
岡部 成行 オカベメンテ 代表取締役  
糸数 昌樹 KAC 代表取締役

※CPD, CPDS 対象講座として実施.

開催日：令和4年5月23日 13:00-17:30

場所：パレット市民劇場

参加人数：250名

【シンポジウム】第27回「沖縄の土木技術を世界に発信する会」シンポジウム

本土復帰50周年と沖縄のインフラ整備について ～今後の沖縄振興50年を考える～

基調講演 槌谷 裕司 元 沖縄総合事務局長  
テーマ講演 大城 郁寛 琉球大学 名誉教授

その他トークセッション

※CPD, CPDS 対象講座として実施.

開催日：令和4年11月25日13:30-16:40

場所：パレット市民劇場

参加人数：169名

#### 4. 技術研究発表会等

土木学会西部支部沖縄会 第12回技術研究発表会（2023年1月18日）

参加人数：69名（発表者，関係者除く）

発表件数：46件

優秀講演者賞：

セッション1：琉球大学	新田 健太
セッション2：琉球大学	上地 安諄
セッション3：琉球大学	平城 有梨
セッション4：沖縄総合事務局	田崎 盛亮
セッション5：横河ブリッジホールディングス	上地 安諄
セッション6：琉球大学	玉城 美七海

#### 5. 広報活動

① 「橋の日」イベント（新型コロナウイルス感染症対策のためオンライン形式に変更）

対象：沖縄都市モノレール 浦添前田駅

日時：2022年8月9日10:30～11:50

参加人数：39名

【主催：沖縄会、共催：琉球大学工学部工学科社会基盤デザインコース，琉球大学土木同窓会，内閣府沖縄総合事務局開発建設部，沖縄県土木建築部，（一社）沖縄県測量建設コンサルタンツ協会，（公財）沖縄県建設技術センター】

② 土木・社会基盤の仕事高校生向け PR ポスターNo.35～No.40を作成し、県立高校58校及び私立高校4校へ配布。土木学会西部支部沖縄会のHPへ掲載

#### 6. その他

幹事会（令和4年7月7日）オンライン開催 参加者：17名（委任状含む）

幹事会（令和5年3月24日）対面開催 参加者：17名（委任状含む）

# 土木学会西部支部沖縄会講演会



## コンクリート構造物の品質確保・ ひび割れ抑制と生産性向上

日時

2022年9月8日(木)

14:00～17:00

(受付開始：13:15)

会場

沖縄県立博物館・美術館（おきみゆー）（講堂）

沖縄県那覇市おもろまち3-3-1

【主催】土木学会西部支部沖縄会

【共催】インフラメンテナンス国民会議 沖縄フォーラム

【参加料】無料（要事前申込） ※本講演はCPD/CPDS対象講座です

開会挨拶

主催者代表挨拶

有住 康則 土木学会西部支部沖縄会 副会長  
(琉球大学名誉教授)

特別講演

コンクリート構造物の品質確保・ひび割れ抑制と生産性向上

細田 暁 横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院 教授  
土木学会356委員会（養生および混和材料技術に着目したコンクリート構造物の品質・耐久性確保システム研究小委員会）委員長

講演

沖縄県におけるコンクリート構造物の耐久性向上を目的とした取り組み

風間 洋 アール・アンド・エー 代表

土木学会356委員会（養生および混和材料技術に着目したコンクリート構造物の品質・耐久性確保システム研究小委員会）委員

申込先・お問い合わせ：

土木学会西部支部沖縄会(沖縄しまたて協会内)

TEL: 098-879-2087 FAX: 098-874-5301

•E-mail: [dobokuoki-jim@shimatate.or.jp](mailto:dobokuoki-jim@shimatate.or.jp)

## 細田 暁

# 特別講演 講師プロフィール

### 略歴：

平成13年3月 東京大学大学院工学研究科 博士課程修了  
平成13年4月 JR東日本 構造技術センター  
平成15年10月 横浜国立大学大学院 准教授  
平成30年7月 横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院 教授

著書：新設コンクリート革命（日経BP）

受賞：日本コンクリート工学会論文賞（2018），技術賞（2019），  
土木学会技術賞（2017，2018）



## 風間 洋

# 講演 講師プロフィール

### 略歴：

昭和58年3月 琉球大学理学部海洋学科卒業  
昭和58年4月 株式会社 アイ・エヌ・エー新土木研究所  
平成元年9月 社財団法人 沖縄建設弘済会  
平成9年9月 アール・アンド・エー 代表

書籍：コンクリート構造物の補修・補強（共同執筆，（株）産業技術サービスセンター）



## 参加申込書

令和 4 年 月 日申込

フリガナ	
団体名	
住所	
電話番号	
E-mail	

※参加される方の氏名を下記に記入してください。（受講証明書が必要な方は○で囲んでください）

フリガナ		希望証明書
氏名		CPD / CPDS
フリガナ		希望証明書
氏名		CPD / CPDS

※尚、本申込みに関する個人情報、本講演会の運営以外に使用することは一切ありません  
CPDS 証明書発行については有料です。

詳細は沖縄会HP（<http://www.jsce-oki.tec.u-ryukyu.ac.jp>）をご参照ください。

【参加申し込み】土木学会西部支部沖縄会事務局（一般社団法人沖縄しまて協会企画部内）

FAX：098-874-5301 TEL: 098-879-2087 E-mail: [dobokuoki-jim@shimatate.or.jp](mailto:dobokuoki-jim@shimatate.or.jp)

【申込締め切り】令和4年9月1日（木）※定員100名（定員に達し次第締め切ります）

### 新型コロナウイルス感染予防対策とご協力をお願い

- ・新型コロナウイルス感染対策のため、マスク着用、体温計測をお願いいたします。
- ・当日の体温が37.5℃以上の方は入場できません。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大状況により、開催方法を変更する場合があります。開催方法の変更については、沖縄会ホームページでお知らせいたします。



プログラム

主催者挨拶

岩田 美幸 土木学会西部支部沖縄会 会長  
(内閣府 沖縄総合事務局 次長)

第1部

【特別講演】

道路事業から見た沖縄復帰 50 年間の  
インフラ整備の概況と今後の取組

吉岡 幹夫 国土交通省 技監

災害リスクの変化とマネジメント

神谷 大介 琉球大学工学部附属地域創生研究  
センター 社会システム研究部門 研究  
部門長(社会基盤デザインコース 准教授)

首里城の復興とその意義

高良 倉吉 琉球大学名誉教授

第2部

【講演】

沖縄の土木技術を世界に発信する会の  
取組と今後の展望について

矢吹 哲哉 沖縄の土木技術を世界に  
発信する会 委員長

【トークセッション】

i-Civil Engineering  
～新たなインフラメンテナンス産業の創出～

コーディネーター

下里 哲弘 琉球大学工学部附属地域創生研究  
センター 副センター長  
(社会基盤デザインコース 教授)

パネリスト

糸野 真一郎 内閣府 沖縄総合事務局  
開発建設部 企画調整官

前川 智宏 沖縄県 土木建築部  
土木整備統括監

宮田 龍太 琉球大学工学部附属地域創生研究  
センター 社会システム研究部門 副部  
門長(エネルギー環境工学コース 助教)

岡部 成行 株式会社 オカバメント  
代表取締役

系数 昌樹 株式会社 KAC  
代表取締役

# 沖縄復帰 50周年 シンポジウム記念

入場無料

定員:375名

※要事前申込み

CPD・CPDS

対象講座

※要事前申込み

2022年 5月23日 月

パレット市民劇場

パレットくもじ9階

13:00-17:30

12:30 受付開始

お問合せ

「沖縄の土木技術を世界に発信する会」事務局  
一般社団法人 沖縄しまたて協会 企画部企画課  
TEL.098-879-2087 FAX.098-874-5301  
E-mail shinpo@shimatate.or.jp

※新型コロナウイルス感染症防止対策のため、マスク着用・検温・手指消毒のご協力をお願いします。



「沖縄の土木技術の世界に発信する会」事務局  
 一般社団法人 沖縄しまたて協会 企画部企画課 宛

**FAX.098(874)5301**

# 沖縄復帰 50 周年記念シンポジウム

## 参加申込書

申込締切:令和 4 年 5 月 13 日(金)まで

2022年 月 日 申込

フリガナ 団体・会社名	
住所	
TEL/FAX	
代表者 E-Mail	@

フリガナ 氏名	希望証明書 (必要な方はいずれかに <input type="checkbox"/> チェックをしてください)	
【代表者】	<input type="checkbox"/> CPD	<input type="checkbox"/> CPDS
	<input type="checkbox"/> CPD	<input type="checkbox"/> CPDS
	<input type="checkbox"/> CPD	<input type="checkbox"/> CPDS
	<input type="checkbox"/> CPD	<input type="checkbox"/> CPDS
	<input type="checkbox"/> CPD	<input type="checkbox"/> CPDS

※ 定員(375名)になり次第締め切らせていただきます。

受講証明書は必要な方はいずれかにチェックをしてください。

尚、本申込みに関する個人情報、本シンポジウムの運営以外に  
 使用することは一切ありません。

**CPD 認定(JSCE)4 単位**  
**CPDS 認定(JCM)5 ユニット**  
**対象講座**

**新型コロナウイルス感染症の影響により、入場者を制限(無観客含む)して開催する場合があります。**





# 本土復帰

# 50周年と 沖縄のインフラ 整備について

～今後の沖縄振興  
50年を考える～

1972  
|  
2022

「土木の日関連行事」第27回  
「沖縄の土木技術を世界に発信する会」シンポジウム

開催日

2022年  
11月25日 **金**

時間 13:30～16:40  
(12:30 受付開始)

場所 **パレット市民劇場**  
(パレットくもじ9F)

●申込方法

しまたて協会 シンポ **検索**

クリック



お問合せ

「沖縄の土木技術を世界に発信する会」事務局  
一般社団法人 沖縄しまたて協会 企画部企画課

TEL: **098-879-2087**

E-Mail: [shinpo@shimatate.or.jp](mailto:shinpo@shimatate.or.jp)

**入場無料**  
定員: 375名  
※要事前申込み

**CPD・  
CPDS  
対象講座**  
※要事前申込み

新型コロナウイルス感染症の  
影響により、**入場者を制限して  
開催する場合があります。**  
(無観客を含む)

**新型コロナウイルス**

**感染防止対策と  
ご協力をお願い**

※ご来場の際は、**マスク着用、  
体温計測**をお願いします  
※当日、体温が**37.5℃以上**の  
方は**入場できません**

【基調講演】

**沖縄振興の半世紀を振り返る**  
～海洋都市・沖縄の持続可能な発展にむけて～  
**槌谷 裕司** (元 沖縄総合事務局長)

【テーマ講演】

**沖縄振興 50年の取組と  
力強い沖縄の発展にむけて**  
**大城 郁寛** (琉球大学名誉教授)

【トークセッション】

**本土復帰 50年の沖縄振興と  
今後の沖縄振興・発展を考える**  
～交通問題を中心に～

コーディネーター

**有住 康則** (琉球大学名誉教授)

パネリスト

**桑野 真一郎** 内閣府 沖縄総合事務局  
開発建設部 企画調整官

**前川 智宏** 沖縄県  
土木建築部 土木整備統括監

**阿部 等** (株)ライトレール  
代表取締役社長

**渡久地 明** (有)沖縄観光速報社  
編集長

主催: 沖縄の土木技術を世界に発信する会  
(土木学会西部支部沖縄会)

(公社) 土木学会西部支部沖縄会・(大) 琉球大学工学部工学科・(公財) 沖縄県建設技術センター・  
(一社) 沖縄県建設業協会・(一社) 沖縄県測量建設コンサルタンツ協会・  
(一財) 港湾空港総合技術センター・(一社) 沖縄しまたて協会

後援: 「土木の日」沖縄地区実行委員会

内閣府沖縄総合事務局開発建設部・沖縄県土木建築部・那覇市都市みらい部・(大) 琉球大学工学部工学科・  
インフラメンテナンス国民会議沖縄フォーラム・(一社) 沖縄県建設業協会・(一社) 日本建設業連合会九州支部・  
(一社) 沖縄しまたて協会・NHK 沖縄放送局・琉球放送・琉球朝日放送・沖縄テレビ放送・琉球新報社・沖縄タイムス社・沖縄建設新聞



第 12 回 土木学会西部支部沖縄会

# 技術研究発表会

琉球大学 研究者交流会館・50周年記念会館

2023年1月18日

発表プログラム



土木学会西部支部沖縄会



## 会場案内



琉球大学西原口を入り、構内の信号を左に曲がり、左手すぐ。

○ 土木学会継続教育（CPD），CPDS 認定プログラム

# 発表プログラム

2023年1月18日

## Time Table

Start	End	プログラム	
8:00	8:30	受付・登録	
8:30	8:45	開会式 〈Room : A〉 開会の挨拶：島袋 善明（沖縄会会長） 実施要項の説明：田井 政行（沖縄会幹事）	
8:45	9:00	Break	
9:00	10:25	Session 1 〈Room : A〉 8編 (腐食防食) 座長：須田裕哉 (琉球大)	Session 2 〈Room : B〉 8編 (人流・交通・防災) 座長：高里典男 (沖縄県)
10:25	10:35	Break	
10:35	12:00	Session 3 〈Room : A〉 7編 (建設材料) 座長：比屋根方新 (琉球セメント)	Session 4 〈Room : B〉 7編 (ICT・整備・建設) 座長：田井政行 (琉球大)
12:00	12:50	Lunch	
12:50	14:15	Session 5 〈Room : A〉 8編 (診断・補修補強) 座長：桑野真一郎(沖縄総合事務局)	Session 6 〈Room : B〉 8編 (点検・計測) 座長：玉城喜章 (沖縄しまたて協会)
14:15	14:30	Break	
14:30	14:45	閉会式 〈Room : A〉 優秀発表者賞の表彰：有住 康則（沖縄会副会長） 閉会の挨拶：畠中 秀人（沖縄会副会長）	

# Presentation Schedule

## Titles and Authors

○発表時間：7分、質疑応答：3分

○概要集：2頁～6頁（原則、偶数頁）

### ○注意事項

- ・発表者は、各発表セッション開始前に発表パワーポイントを会場パソコンにインストールし、動作状態を確認すること。
- ・発表者および聴講者は、土木学会西部支部沖縄会の会員登録をしてください。なお、土木学会正規会員または学生は登録の必要はありません。

Time	Room A
9:00   10:25	<p style="text-align: center;"><b>Session1 : 腐食防食</b> <span style="float: right;">座長：須田裕哉（琉球大学）</span></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ACMセンサーを用いた鋼製高力ボルト用の透明型防錆キャップ内部の防食環境 琉球大学 市原 利通 佐藤 志帆 下里 哲弘 (株)IHIインフラシステム 矢ヶ部 菜月</li> <li>2 硬着さびへの低温低圧型溶射技術を用いた防食皮膜に対する自然電位測定に関する研究 琉球大学 新田 健太 下里 哲弘 (株)横河ブリッジホールディングス 加藤 健太郎 首都高技術(株) 日和 裕介 東京ファブリック工業 木村 雅昭</li> <li>3 超厚膜型の鋼部材角部に対する収縮特性 琉球大学 田盛 真司 望月 大地 下里 哲弘 (株)染めQテクノロジー 井上 幸一 井口 有佳里</li> <li>4 鋼 I 桁橋桁端部における部位別腐食のさび厚と減耗量の関係性 琉球大学 望月 大地 下里 哲弘 淵脇 秀晃</li> <li>5 腐食した鋼材に内在する塩分に関する研究 琉球大学 芝田 駿 下里 哲弘 望月 大地</li> <li>6 高力ボルト連結板近傍の母材部に腐食減肉を有する鋼 I 桁の耐力特性 琉球大学 磯村 桃子 田井 政行 下里 哲弘 JFEエンジニアリング 田中 裕明</li> <li>7 自然電位計測によるステンレス鋼-炭素鋼突合せ溶接部の異種金属反応特性に関する研究 琉球大学 佐藤 志帆 下里 哲弘 建設技術研究所 荒牧 聡</li> <li>8 ステンレスフレック含有塗料を用いた高力ボルトの耐腐食性の検証 琉球大学 青山 大悟 望月 大地 下里 哲弘 横川ブリッジホールディングス 加藤 健太郎 神鋼ボルト 山本 光春 東洋アルミ 玉寄 長治</li> </ol>
	Room B
	<p style="text-align: center;"><b>Session2 : 人流・交通・防災</b> <span style="float: right;">座長：高里典男（沖縄県）</span></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. COVID-19による住民の行動変化に関する一考察 沖縄本島中南部都市圏を対象として 琉球大学 上間 大輔 神谷 大介 町田 宗瞭 上地 安諄</li> <li>2. COVID-19による観光流動変化に関する一考察～沖縄本島中南部都市圏を対象として～ 琉球大学 町田 宗瞭 上間 大輔 上地 安諄 神谷 大介</li> <li>3. 感染症流行前後の人流の変化に関する基礎分析 -那覇市中心市街地を対象として- 琉球大学 上地 安諄 神谷 大介 東京大学大学院 福田 大輔 琉球大学大学院 山中 亮</li> <li>4. 住民と観光客の滞留人口分布を考慮した津波避難に関する基礎的考察 琉球大学 新垣 綾香 神谷 大介 町田 宗瞭</li> <li>5. イリオモテヤマネコのロードキルと道路・交通環境の関係に関する一考察 琉球大学 池原 隆之介 神谷 大介 山中 亮 地域未来研究所 菅 芳樹</li> <li>6. 公共交通ネットワーク再編のための人流分析～沖縄本島中南部都市圏を対象として～ 琉球大学 名城 優希 神谷 大介 町田 宗瞭 上地 安諄 上間 大輔 宮田 龍太</li> <li>7. 人口構成からみた水害リスクの変化に関する分析 琉球大学 坪 健斗 神谷 大介 後藤 昌大</li> <li>8. ゾーン30+による対策の試験的な実施における効果検証について 沖縄総合事務局 南部国道事務所 仲嶺 彰人 楠田 鉄一郎 喜友名 曜一</li> </ol>



Time	Room A
10:35 ↓ 12:00	<p style="text-align: center;"><b>Session3 : 建設材料</b> <span style="float: right;">座長：比屋根方新（琉球セメント）</span></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高温多湿環境下でのジオポリマーの一検討 西松建設(株) 原田 耕司 (株)技建 津波古 充仁 新垣 幸治 富名腰 陽平 琉球大学 富山 潤 中川 鉄水 九州工業大学大学院 合田 寛基</li> <li>2. 沖縄県の暑中期におけるコンクリート温度が及ぼす影響に関する実験（その2） 沖縄県生コンクリート工業組合 比嘉 圭二郎 琉球大学 富山 潤 山田 義智 九州大学 小山 智幸</li> <li>3. 古紙リグニンを利用したボタニカルコンクリートの開発 琉球大学 平城 有梨 富山 潤 須田 裕哉 (株)バイオアパタイト 中村 弘一 琉球ブリッジ(株) 谷中田 洋樹</li> <li>4. 月桃リグニンを利用した機能性素材に関する基礎研究 琉球大学 地頭代 拓海 平城 有梨 富山 潤 須田 裕哉 (株)バイオアパタイト 中村 弘一 琉球ブリッジ(株) 谷中田 洋樹</li> <li>5. 廃棄植物のリグニンを利用したボタニカルコンクリートに関する基礎研究 琉球大学 仲村渠 駿 平城 有梨 富山 潤 須田 裕哉 (株)バイオアパタイト 中村 弘一 琉球ブリッジ(株) 谷中田 洋樹</li> <li>6. 収縮低減効果による高炉セメントC種の中性化抑制効果 琉球大学 石底 健太郎 須田 裕哉 富山 潤</li> <li>7. バイオマス燃焼灰を活用した消波ブロックの実用化に向けた取り組み (株)不動テトラ 花城 有人 昇 悟志 琉球大学 富山 潤 須田 裕哉 (株)リュウクス 南出 拓人 リウコン(株) 仲宗根 晋也 ポゾリスソリューションズ(株) 錦織 幸夫</li> </ol>
	<p style="text-align: center;"><b>Room B</b></p> <p style="text-align: center;"><b>Session4 : ICT・整備・建設</b> <span style="float: right;">座長：田井政行（琉球大学）</span></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 浦添北道路の橋梁設計におけるBIM/CIMの適用について 沖縄総合事務局 南部国道事務所 田崎 盛亮 譜久山 誠</li> <li>2. 名護東道路全線開通のあゆみ 沖縄総合事務局 北部国道事務所 名渡山 一彦 高良 茂宏</li> <li>3. ダム管理におけるUAVを活用したDX推進の取り組みについて 沖縄総合事務局 北部ダム統合管理事務所 砂川 尚也 具志堅 喜郎</li> <li>4. 沖縄都市モノレール3両化事業における技術提案・交渉方式（ECI） 沖縄都市モノレール 山城 明統</li> <li>5. 沖縄県における景観検討の取組成果と課題 沖縄県土木建築部 鎌溝 遼治郎</li> <li>6. 沖縄県におけるi-Constructionの取組について～2022 年度の取組～ 沖縄県土木建築部 村吉 政人</li> <li>7. 車載型センシング装置の概要 沖縄総合事務局 南部国道事務所 永山 勝 幸喜 幹生</li> </ol>

Time	Room A
	<p style="text-align: center;"><b>Session5：診断・補修補強</b>                      座長：桑野真一郎（沖縄総合事務局）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ステンレスフレック含有塗料を用いた高力ボルトの締付け試験およびリラクセーション試験 横河ブリッジホールディングス 加藤 健太郎 琉球大学 青山 大悟 望月 大地 下里 哲弘 神鋼ボルト株式会社 山本 光春 東洋アルミニウム株式会社 玉寄 長治</li> <li>2. 鋼橋の端対傾構に用いるHybridFRP部材の圧縮耐荷力 琉球大学 松井 尚輝 琉球大学 下里 哲弘 日鉄ケミカル&amp;マテリアル 秀熊 佑哉 フクビ化学工業 成沢 良助</li> <li>3. 硬着錆を有する鋼桁の疲労強度及び亀裂進展特性 琉球大学 下地 大貴 下里 哲弘</li> <li>4. 実橋環境下における高力ボルト軸力の長期継続リラクセーション特性 琉球大学 野村 千頭 下里 哲弘 田井 政行</li> <li>5. FEM解析を用いた桁端部モデルへのステンレス鋼適応に関する基礎的研究 琉球大学 後藤 昌大 下里 哲弘 松井 尚輝 建設技術研究所 荒牧 聡</li> <li>6. 亜硝酸リチウム圧入工法による鉄筋腐食抑制効果に対する環境作用の影響 琉球大学 柞木 大 李 真儀 宮里 昂志 富山 潤 須田 裕哉 極東興和(株) 森 祐介 江良 和徳 田原 俊彦</li> <li>7. コンクリート箱桁橋の補修時期に関する数値解析的検討 琉球大学 兼久 涼斗 富山 潤 須田 裕哉 吉見 映輝</li> <li>8. 機械学習を用いた塩害劣化予測の説明変数（特徴量）に関する一考察 琉球大学 吉見 映輝 富山 潤 須田 裕哉</li> </ol>
12:50 ↓	Room B
14:15	<p style="text-align: center;"><b>Session6：点検・計測</b>                      座長：玉城喜章（沖縄しまたて協会）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 3Dレーザースキャナと腐食形態別の錆厚減耗関係を用いた腐食減肉マップの推定方法 琉球大学 新城 百華 下里 哲弘</li> <li>2. 渦流探傷試験における探傷時のプローブの角度に関する研究 琉球大学 植木 智仁 下里 哲弘 田井 政行 株式会社IHI 大橋 タケル</li> <li>3. 渦電流探傷試験による疲労き裂検出へのAIの導入 琉球大学 富里 舞 宮田 龍太 植木 智仁 田井 政行 下里 哲弘 株式会社IHI 大橋 タケル</li> <li>4. X線回折法に基づくASR劣化したコンクリート橋脚鉄筋の残留応力計測 琉球大学 宮里 昂志 富山 潤 須田 裕哉 (株)沖縄建設技研 宮城 敏明 泉水 雄太 平良 希 パルステック工業(株) 山口 真</li> <li>5. AEデジタル打音検査技術によるPCグラウト未充填判定に関する基礎研究 琉球大学 李 真儀 柞木 大 富山 潤 須田 裕哉 原子燃料工業(株) 磯部 仁博 松永 嵩 (株)日本ピーエス 川口 慎也 藤原 滉大</li> <li>6. 多機能防食デッキに作用する風圧特性と耐風特性の検討 琉球大学 磯部 喬幸 下里 哲弘 田井 政行 宮地エンジニアリング 山下 修平 日鉄エンジニアリング 藤川 敬人 横河ブリッジホールディングス 加藤 健太郎</li> <li>7. 漏洩磁束法によるスターラップ近傍の破断特性及び破断検知精度向上に関する実験的研究 琉球大学 玉城 美七海 下里 哲弘 垣花 寿 コニカミノルタ(株) 手嶋 克智 三輪 国大 児玉 祥紘</li> <li>8. 路上駐車のアイドリングによる燃料消費量の試算 北海学園大学 堂柿 栄輔 東北大学 梶田 佳孝</li> </ol>

# 『橋の日』イベント

## 実施報告書

令和4年8月

主催：土木学会西部支部沖縄会

共催（参加協力）

：琉球大学工学部工学科社会基盤デザインコース（学生）

：琉球大学土木同窓会

：内閣府沖縄総合事務局開発建設部

：沖縄県土木建築部

：（一社）沖縄県測量建設コンサルタンツ協会（測建協）

：（公財）沖縄県建設技術センター

## 1. 「橋の日」活動の概要

8月4日は「橋の日」として、私たちの生活と文化に密接なかかわりを持つ橋に感謝を込めて、橋の清掃活動を行っている。本活動は現在、全国47都道府県すべてに広がり、沖縄県では平成23年度以降連続開催し今年12回目を実施するものである。

## 2. 「橋の日」活動の目的

- 橋に感謝し、橋の歴史や構造を学ぶ。
- 橋に感謝し、橋とのふれあいの日にする。
- 橋に感謝し、橋を大事にする心を育む。

## 3. 主催

主 催：土木学会西部支部沖縄会

## 4. 共催（参加協力）

- ：琉球大学工学部工学科社会基盤デザインコース（学生）
- ：琉大土木同窓会
- ：内閣府沖縄総合事務局開発建設部
- ：沖縄県土木建築部
- ：（一社）沖縄県測量建設コンサルタンツ協会（測建協）
- ：（公財）沖縄県建設技術センター

## 5. 活動内容

日付：令和4年8月9日（火）

時間：午前10時30分～11時50分まで

形式：オンライン

対象橋梁：沖縄都市モノレール浦添前田駅

- 内容：
- 琉球学生による橋に関する説明
  - 沖縄都市モノレール浦添前田駅周辺の清掃の様子
  - 集合写真紹介



前田駅 交通広場



## 6. 参加者：39名

- 琉球大学：18名
- 内閣府沖縄総合事務局開発建設部：2名
- 沖縄県土木建築部：6名
- 琉大土木同窓会：3名
- 沖縄県建設技術センター：1名
- 土木学会西部支部沖縄会 会員：9名

## 7. 当日のスケジュール（新型コロナウイルス感染症対策のためオンライン形式で開催）

時刻	内容
10:40	開会の挨拶（沖縄県土木建築部技術・建設業課 森田課長 沖縄会幹事長）
10:45	沖縄都市モノレール浦添前田駅に関する説明
11:20	沖縄都市モノレール浦添前田駅周辺の清掃の様子
11:40	閉会の挨拶（琉大土木同窓会 儀間会長）

## 8. 実施状況

### (1) 開会式あいさつ

森田幹事長による「橋の日」活動の目的及び概要説明が行われました。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン形式での開催となりました。



## (2) 沖縄都市モノレール浦添前田駅に関する説明

琉球大学学生より沖縄都市モノレール浦添前田駅について、PC 軌道桁、鋼軌道桁、駅舎等について説明が行われました。参加者からボルト継手部に対する腐食抑制技術などについて質疑・コメントがありました。

### ・説明資料（抜粋）

#### 沖縄の軌道交通

##### 軽便鉄道(沖縄県営鉄道)

大正3年から県民に親しまれていた鉄道は交通手段としての役割だけではなく、サトウキビを運ぶ手段としても重要な役割を担っていた



##### ちんちん電車(沖縄電気軌道)

軽便鉄道と同じく、大正3年から運行していたちんちん電車は昭和8年に採算の悪化によって廃止された



#### モノレール事業について

戦後、沖縄県は自動車交通のみに依存していた。そのため、那覇都市圏は交通混雑が著しく、都市機能の低下や生活環境の悪化を招いている。

交通渋滞を緩和し、健全な都市機能の維持・発展を図るために導入された。

地域整備として、沿線の開発・バス路線の再編を促進し、利便性の高い公共交通ネットワークの構築を図っている。



#### モノレールの軌道桁

##### PC軌道桁

あらかじめ圧縮応力を加えたコンクリートを使った桁。モノレールでは主に直線部に使われている



##### 鋼軌道桁

モノレールでは主に交差点上や曲線区間で使われている



#### 合成・合理化鋼軌道桁

鋼軌道桁の走行性の問題（雨天時のスリップなど）や添接部の腐食の問題を解決するために採用された桁



合成・合理化鋼軌道桁（浦添前田駅）

#### 浦添前田駅駅舎デザインコンセプト

##### 浦添の顔となる景観の形成

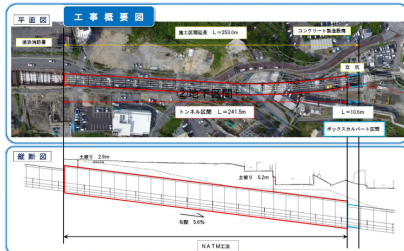


浦添タスクという蓄積的特性を新しいシンボルとしての駅に照らし合わせてデザインすることで、その歴史性や地域性を見直し、使い込まれながら愛着の持てる駅へと変化していく過程を共有できるデザインとする

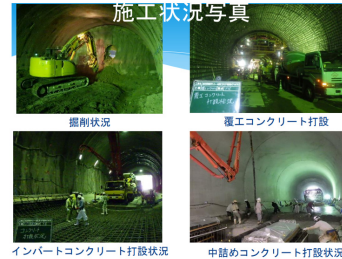
#### 浦添前田駅駅舎デザイン



#### NATM区間箇所



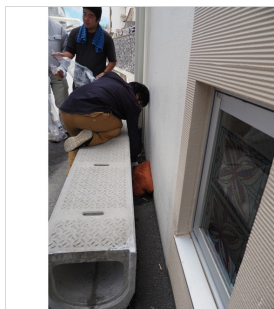
#### 作業工程について



前田駅 清掃活動 (2022 8/2)



清掃の様子



### (3) 閉会の挨拶

琉大土木同窓会の儀間会長による閉会の挨拶が行われました。





(4)開催状況



<備考>

- 第1回 (H23.8.8) 国道58号 明治橋
- 第2回 (H24.8.3) 国道329号 とよみ大橋
- 第3回 (H25.8.2) 国道58号 新牧港橋
- 第4回 (H26.8.6) 県道那覇内環状線 那覇大橋
- 第5回 (H27.8.12) 県道11号線 真玉橋
- 第6回 (H28.8.9) 与根高架橋
- 第7回 (H29.8.9) 金城ダム公園内 ヒジ川橋
- 第8回 (H30.8.3) 国道331号 糸満高架橋
- 第9回 (R01.8.7) 琉球大学内 球陽橋
- 第10回 (R02.8.13) 北明治橋
- 第11回 (R03.8.5) 中城港湾泡瀬工区橋梁



- 社会基盤デザインコースの研究紹介  
構造設計工学分野

## 仕事の紹介

### 橋梁を主体とした 鋼構造物の維持管理に関する研究

橋梁は川や海、谷を越えて人々の往来を可能とし、街を繋ぐ交通インフラの要です。日本の橋梁の多くは、建設から50年以上が経過し、たくさんの構造物に疲れや痛み（疲労損傷、腐食損傷など）が生じています。特に沖縄では、亜熱帯気候に属し、一年中高温多湿環境下にあります。また、平均風速が年間を通じて5m/sと速く、さらに周囲を海に囲まれているため、波が砕けた際に放出される海塩粒子が内陸部まで飛来するため、沖縄の橋や建物などの構造物の腐食は著しく、他の日本地域と比較しても、その腐食の進行速度は5倍から10倍程度速くなります。そこで、琉球大学工学部社会基盤デザインコースの構造設計工学研究室では、この厳しい腐食環境を逆手に取り、鋼鉄製の構造物の塩害に対する防食技術開発の最前線として研究開発を行うとともに、鋼構造物の維持管理を担う技術者の育成を行っています。

伊良部大橋

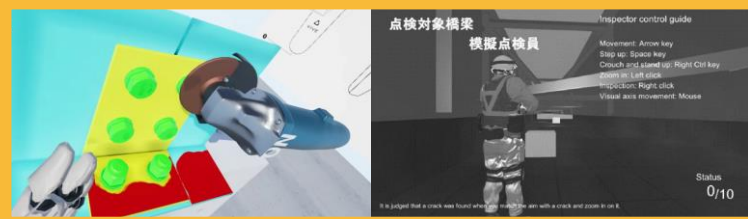


実物試験橋



### 構造設計工学研究室での取り組み事例

鋼橋の腐食に対する維持管理では、錆発生個所の除錆を行い、再び塗装することが一般的ですが、ボルト継手部のような複雑な部位では、錆を完全に除去することが困難であるため、錆除去に適したツールをVR技術を活用して開発しています。また、橋梁の点検・診断を行う高度専門技術者を育成するために、3DCGシミュレーションを用いた学習ツールの開発も行っています。



## Message

沖縄の厳しい塩害環境を逆手に取り、最先端の塩害対策技術を習得した「橋の専門医」になるために、社会基盤デザインコースへお越しください。

下里 哲弘

浦添高校 / 琉球大学卒

官公庁の技術系公務員、橋梁メーカーなどの建設業、設計コンサルタント、大学の研究者として活躍しています。

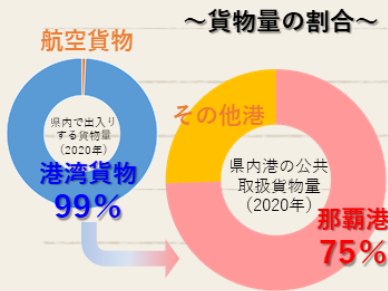
卒業生・修了生の進路





- 那覇港管理組合の仕事紹介
- 那覇港長期構想について
- 職員からの Message

## 仕事の紹介



15世紀頃、那覇港は琉球王朝時代の表玄関口として、中国を始めとする東アジアの一大貿易港へと発展していきました。

現在においても、この構図は変わらず、生活物資や経済活動に必要な物資の約99%を港湾が担い、中でも那覇港は、沖縄県内港の公共取扱貨物の約75%を占める重要な物流拠点となっています(左図参照)。

また、周辺離島を支える生活航路の拠点、クルーズ観光等の観光交流拠点としても、重要な役割を担っています。

那覇港管理組合は、その重要な那覇港の港湾管理者として、那覇港の開発・管理運営から将来計画の策定、就航船舶の入出港手続き対応など、多岐にわたる業務を通して、那覇港の持続的な発展を支えています。



1422年頃の那覇港の絵図



現在の那覇港(新港心頭地区)



那覇クルーズターミナル

新たなクルーズ船用岸壁(新港心頭地区)



県民・観光客の憩いの場である波之上ビーチも那覇港管理組合が管理しています。



## 那覇港長期構想について

那覇港管理組合では、那覇港の更なる発展のため、令和4年4月に、約20年～30年先の那覇港の将来ビジョンを策定しました。将来にわたる沖縄県全域の持続可能な発展の推進力となる「みなとづくり」を進めていきます。

### <基本理念>

舟楫をもって万国の津梁となす、  
世界と沖縄・日本全国の人・物・文化を繋ぐ“みなと”



#### ◆ 那覇港長期構想



<https://nahaport.jp/news/1651113535/>

#### ◆ 那覇港HP



<https://nahaport.jp/>

#### ◆ 那覇港の歴史



<https://nahaport.jp/introduction/history/>

#### ◆ 那覇港の現況



<https://nahaport.jp/introduction/genkyo/>

## Message



私の所属する計画建設課では、那覇港の将来計画、それを踏まえた港湾の開発等の業務を行っております。

業務に携わる中で、日々の豊かな暮らしを支えている一因に「港湾」があることに気がつきます。

「みなとの元気なくして沖縄の成長なし!」の下、県民の生活を下支える港湾行政に、みなさんも携わってみませんか？

那覇港管理組合 企画建設部  
計画建設課 計画班

久高 隆太郎(嘉手納高校/琉球大学卒)





- ・道路、橋、トンネル、護岸や公園など生活基盤(インフラ)をつくる仕事
- ・女性活躍の推進・働きやすい職場づくりへの取組・ICTの活用
- ・地域の安全・安心を守る・災害発生時(防疫活動)の迅速な復旧処理対応



# 株式会社 仲本工業

創業1966年

沖縄県知事許可(特-1)第970号

## 仕事の紹介

「未来をクリエイションする。」

仲本工業は、総合建設会社として土木工事の分野において道路や橋、トンネル、護岸や公園など沖縄県のまちづくりに貢献しています。

工事を計画通りに完成させるためには、『施工管理』が重要です。土木技術者は、毎日の現場進行状況を管理、運営していく仕事で、設計図面をもとに施工スケジュールに従って、建設資材の発注・受取、作業員の配置・管理といった作業内容をチェックしながら計画通りに工事を進行させる現場の総責任者です。また施主(お客様)に対しては、予算の管理、設計やスケジュールの変更、資材調達の確認・納期の変更確認など、日々変化する現場の状況を説明し、納得していただくという調整的な役割もあります。



**CREATION**  
OF NAKAMOTO KOGYO



## 免許資格



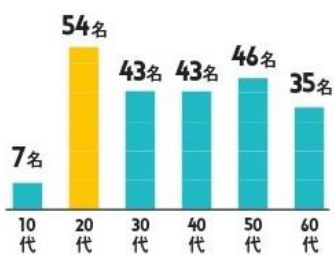
社員は働きながら、必要な国家資格である**土木施工管理技士**を取得しています。

(資格取得等サポート制度有り)

- ✓1級土木施工管理技士 36名
- ✓2級土木施工管理技士 24名

## 若い社員も活躍

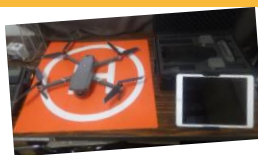
年代別人数



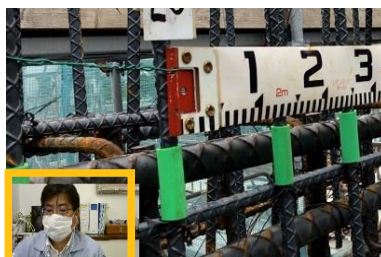
現場のチーム力と工事が完了した達成感は一生物です。



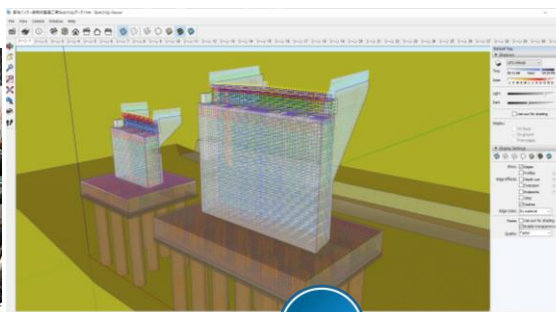
## 土木現場の様々な ICT技術



ドローンによる空撮やICTに対応した杭ナビ、BIM/CIM活用、遠隔臨場など



☑ 事務所から現場の検査確認(立会)が可能!



☑ 現場に360度カメラを設置し、どこからでも状況を把握!  
 ☑ グループウェアの活用で、いつでも情報を共有が可能!





● 八重山地域の港湾整備事業の紹介

## 仕事の紹介

## 沖縄県土木建築部 八重山土木事務所 河川都市港湾班

八重山土木事務所 河川都市港湾班では、八重山地域における河川、港湾、海岸、空港、公園と、多岐にわたる社会基盤の整備・維持管理等を行っています。

私は港湾事業を担当しており、主な仕事内容として、船舶が接岸するための係留施設や航路の整備に係る業務・工事の発注、施工監督、これらに必要な予算の管理を行っており、建設コンサルタントや施工業者、地域住民の皆様と調整を行いながら事業を進めています。

また、管内の港湾には供用開始から数十年が経ち老朽化が進行している施設も多く、そのような施設の長寿命化事業にも取り組んでいます。



○住民説明会



○現場施工状況



○現場立会い

## 港湾の利用状況



仲間港(西表島)



竹富東港(竹富島)

## Message

私の所属する河川都市港湾班では、管内の港湾整備に関する業務を行っています。港湾は人の往来、物資の輸送など島民の生活に必要不可欠な施設です。このため、ご要望をいただく機会も多いですが、業務を通して直接地域に貢献できることに日々やりがいを感じます。

将来一緒に仕事ができることを楽しみにしております。



好田 徹  
富山南高校(県外)/琉球大学卒





- ・建設コンサルってナニ？
- ・沖縄県での取り組み事例①
- ・将来性・必要とされる免許資格

## 仕事の紹介

株式会社協和建設コンサルタントは1965年(昭和40年)8月の創立以来、地域貢献を念頭に、地域に根ざした土木建設コンサルタントとして沖縄県の振興発展に努めてきました。また、これまで我が社に託されたプロジェクトについては、多方面からの創意工夫で良い成果品を提供してきました。

2015年(平成27年)、創立50周年を迎え、日々変化する社会情勢に対応すべく全従業員一丸となり、より一層の技術向上と研鑽を図り、多様化するニーズに応えていきたいと思ひます。

近年めざましく発展している土木技術・CIM・ドローンの活用や、これまでの経験に基づく提案を提供・土木全般における多方面からのアプローチを目指します。



地すべり調査・解析・対策工設計(熱田地すべり)



都市計画(平和記念公園)

## 沖縄県での取り組み事例

### 設計全般

(道路・トンネル・橋梁・港湾・河川砂防・漁港・水産土木・農業土木・都市計画・上下水道)

### 地盤調査全般

(ボーリング調査・地表地質調査・載荷試験・孔内原位試験・磁気探査)

### 測量全般

(道路・河川・地積・地形・用地・深淺・航空写真・GPS・海洋)

### 補償業務全般

(土地調査・土地評価・物件・補償関連・総合補償)

構造物の調査・点検・診断・補修設計

・耐震補強設計

地すべり調査・解析・対策工設計

軟弱地盤調査・解析・対策工設計

施工管理

## Message



現在、牧港補給地区跡地利用計画策定業務の中で道路ネットワーク計画の策定に携わっています。

近年、道路には自動車通行だけでなく歩いて楽しい憩いの空間としての役割も求められています。

また自動運転や小型モビリティの技術開発は日進月歩で、公道を使った実証実験が県内外で広く行われています。当社では、様々な交通手段をサポートする都市交通のあり方について、県外の事例調査等を踏まえて提案しています。

島袋 登仁雄 那覇高校/琉球大学卒

我が社では、資格・免許の取得に関して、社内での勉強会や積極的な講習会への参加などを勧めています。新しい分野の資格や免許の取得も、意欲的に取り組んでいます。

将来性 or 免許資格





宜野湾市役所（都市計画課）の仕事紹介

## 仕事の紹介

都市計画課の業務は、  
計画部門と設計・施工部門があります。

### 計画部門（都市計画係）

都市計画係では、将来の“まち”の姿を想定し、それを実現するために、法に基づいて建物を建てる時の“ルール”を定めたり、また、道路や公園の配置を検討するなど、未来のまちづくりを実現するための計画を立案する仕事です。

まちづくりには、市民の皆さまのご意見が重要です。そこで、ワークショップなどを通じて、まちづくりに関する意見やアイデアを交わしてもらう機会を設け、いただいたご意見を計画づくりに活かしていきます。

### 設計・施工部門（工事係）

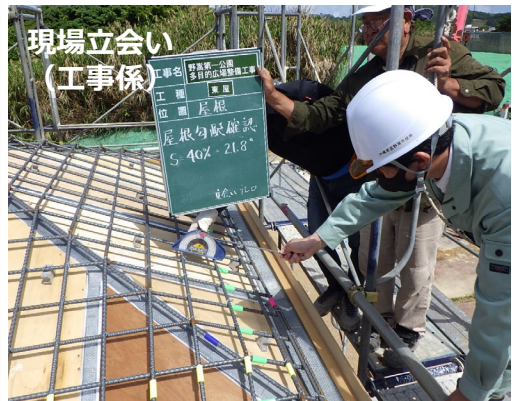
工事係では、主に公園の設計及び整備を行っています。仕事内容は、設計書作成、工事発注、また現場監督員として現場立会いや検査を行います。

近年は街区公園を新たに3つの公園を供用開始し、多くの市民の方に利用いただいております。現在は西普天間住宅地区跡地返還に伴う公園基本計画を策定中であり、将来は約11haの大規模な総合公園の整備を計画しています。

ワークショップの風景  
（都市計画係）



現場立会い  
（工事係）



## 宜野湾市内都市公園

ひやーらばる公園  
（R3年4月供用開始）



ていーちがー公園  
（R4年4月供用開始）



## Message



工事係では公園の設計や工事を担当しています。皆さんが小さいころ遊んだ公園の思い出はありますか？楽しかった思い出や、こうあったらもっといいなという考えもこの仕事で活かすことができます。私自身もみんなが楽しく安全に使用できる公園を目指して業務に励んでおり、とてもやりがいのある仕事です！！  
一緒に素敵な公園を整備しませんか？

前川 健

豊見城南高校 / サイ・テク・カレッジ那覇卒

令和4年度 収支決算書(案)

(単位:円)

収支科目	令和4年度 予算額(a)	令和4年度 決算額(b)	差異(a)-(b)	備考
<b>I 事業活動収支の部</b>				
1.事業活動収入				
(1)会費収入	350,000	353,300	△ 3,300	
①法人	350,000	353,300	△ 3,300	R4団体会員 計71社 5,000円*70社、1社は途中入会の為月割計算3,300円
(2)ランチ支援金	120,000	120,000	0	
①ランチ支援金	120,000	120,000	0	支部交付金(発信する会へ)
(3)事業収入	51,000	68,464	△ 17,464	
①行事収入	51,000	68,464	△ 17,464	
①-1総会会費収入	0	0	0	
①-2定例会費収入	0	0	0	
①-3講演講習会収入	39,000	33,000	6,000	CPDS参加費(9/8講習会)
①-4研究調査発表会収入	12,000	0	12,000	
①-5会議費	0	35,464	△ 35,464	9/2講演会会場費(33,330円)払い戻し/(一財)沖縄美ら島財団
(4)雑収入	0	2	△ 2	
①受取利息・配当金	0	2	△ 2	
(5)繰入金収入	0	0	0	
①支所繰入金収入	0	0	0	
事業活動収入(A)	521,000	541,766	△ 20,766	
2.事業活動支出				
(1)事業費支出	1,003,000	811,800	191,200	
①講習会費	590,000	510,271	79,729	講演会、講習会、会場借上げ費等
②研究発表会費	61,000	55,669	5,331	会場借上げ費、記念品等
③広報費	225,000	201,026	23,974	橋の日・土木の日、ポスター郵送費
④現場見学会費	90,000	0	90,000	
⑤その他、総会	37,000	44,834	△ 7,834	配布資料印刷・郵送費等
(2)管理費	35,000	21,654	13,346	HP管理費等、残高証明書等
(3)繰越金支出	0	0	0	
①特別会計繰越支出	0	0	0	
事業活動支出計(B)	1,038,000	833,454	204,546	
事業活動収支差額(C)=(A)-(B)	-517,000	-291,688	△ 225,312	
<b>II 投資活動収支の部</b>				
1.投資活動収入				
(1)特定貯金取崩収入	0	0	0	
①支部運営積立貯金取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計(D)	0	0	0	
2.投資活動支出				
(1)固定資産取得支出	0	0	0	
(2)特定貯金支出	0	0	0	
①支部運営積立貯金支出	0	0	0	
投資活動支出計(E)	0	0	0	
投資活動収支差額(F)=(D)-(E)	0	0	0	
<b>III 予備費支出(G)</b>				
当期収支差額(H)=(C)+(F)+(G)	△ 517,000	△ 291,688	△ 225,312	
前期繰越収支差額(I)	665,572	665,572	0	
次期繰越収支差額(H)+(I)	148,572	373,884	△ 225,312	

# 令和4年度 監査報告書

令和4年度(一社)土木学会西部支部沖縄会の収入・支出及び財産につき関係諸帳簿及び、  
証拠書類を監査の結果、適正かつ正確に経理されていることを確認する。

令和5年5月1日

監査役 沖縄県土木建築部  
土木整備統括監

石川 勇二

監査役 (一般社団法人) 沖縄県建設業協会  
会長

津波 竜也



## 令和5年度 主要事業計画（案）

1. 土木学会西部支部沖縄会総会

## (1) 企画内容等

年1回総会を開催する。

## (2) 開催日時

令和5年7月18日(火)

2. 講演会の開催

テーマ：【仮】ステンレスクラッド鋼，スーパーステンレス鋼関連

特別講演 検討中

講演 検討中

開催時期：令和5年8－9月（予定）

開催場所：琉球大学（予定）

3. 講習会等の開催

テーマ：点群データを活用した次世代社会資本マネジメントの創造

講演：点群データを用いた公共事業の動向 大阪経済大学 中村健二 教授

点群データの計測・処理技術の動向 摂南大学 塚田義典 准教授

建設コンサルタントにおける点群データの活用事例 日本インシーク社

開催日時：令和5年8月31日 14：00-16：00

開催場所：琉球大学50周年記念館

テーマ：亜熱帯海洋性気候におかれたコンクリート構造物に対する沖縄での取り組み

開催日時：令和5年9月7日 14：00-17：00

開催場所：琉球大学50周年記念館

4. 技術研究発表会等

## (1) 企画内容等

沖縄会、沖縄総合事務局、沖縄県合同技術研究発表会を開催し、大学、主要発注機関、コンサルタント等から発表論文を募集し、より活性化を図る。年に1回開催する。

## (2) 開催日時

令和6年1月(予定)

## (3) 開催場所

西原町 琉球大学

5. 広報活動

## (1) 土木の日シンポジウム

・土木の日（11月18日）にあわせ、土木工学に係るシンポジウムを開催。

- ・開催日時：令和5年11月●日（予定）
- ・開催場所：那覇市 パレット市民劇場

(2) 橋の日イベント

- ・橋の日（8月4日）にあわせ、県内橋梁の歴史調査、清掃などを行う。
- ・開催日時：令和5年8月〇日（〇）予定
- ・開催場所：未定

(3) 土木・社会基盤の仕事高校生向けPRポスター作成および配布、沖縄会HPへ掲載。

人材確保・育成WGにおいて、土木技術者の確保・育成のための効果的な活動内容について、教育機関等と引き続き協議を行い実施方法について検討を進める。

(4) その他

6. ホームページの管理・運営

各種事業の取組に合わせて適宜情報を提供し、広報等に活用。

7. 現場見学会等

(1) 企画内容等

学校教員を対象とした講演会・現場見学会・意見交換会（人材確保・育成WGとの連携事業）。

(2) 開催時期

令和5年7月～9月（予定）

(3) 開催場所：検討中

# 点群データを活用した

## 次世代社会資本マネジメントの創造

日時

2023年8月31日（木）14：00～16：00

（受付開始：13：30）

会場

琉球大学 50周年記念館

概要

近年、国土交通省のi-ConstructionやBIM/CIM等の推進に伴い、3次元モデルや点群データ等の都市空間の3次元データが蓄積・公開されています。本セミナーでは、簡易に計測可能な点群データに焦点を当て、インフラメンテナンスに活かすための研究成果や事例を紹介します。

- ◆ 「インフラDXの基盤となる3次元データ利活用環境の整備に関わる共同研究成果」  
講師：大阪経済大学 中村健二
- ◆ 「構造化点群データによるインフラDX支援」  
講師：摂南大学 塚田義典
- ◆ 「建設コンサルタントにおける点群データの活用事例」  
講師：日本インシーク 平野順俊

【主催】土木学会西部支部沖縄会

【参加料】無料

【お問い合わせ】土木学会西部支部沖縄会事務局

（一般社団法人沖縄しまたて協会企画部内）

TEL: 098-879-2087 FAX: 098-874-5301 E-mail: dobokuoki-jim@shimatate.or.jp

## 講師紹介

### ■中村健二

大阪経済大学情報社会学部教授。博士（情報学）。  
専門は土木情報学，知能情報学，自然言語処理。  
平成28年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞（科学技術振興部門），  
令和元年・2年度i-Construction大賞【優秀賞】受賞，  
令和4年度土木学会AI・データサイエンス論文賞受賞

### ■塚田義典

摂南大学経営学部准教授。博士（情報学）。  
専門は土木情報学，知能情報学，メディア情報学。  
令和元年・2年度i-Construction大賞【優秀賞】受賞，  
令和4年度土木学会インフラメンテナンスチャレンジ賞受賞，  
令和4年度土木学会AI・データサイエンス論文賞受賞

### ■平野順俊

株式会社日本インシーク 技術本部 技術企画部 部長。  
技術部門の統括、技術開発に従事。  
令和4年度土木学会インフラメンテナンスチャレンジ賞受賞

## 参加申込書

令和 5 年 月 日

フリガナ	
団体名	
住 所	
電話番号	
E-mail	

※ 参加される方の氏名を下記に記入してください。（受講証明書が必要な方は○で囲んでください）

フリガナ		希望証明書
氏 名		CPD・CPDS
フリガナ		希望証明書
氏 名		CPD・CPDS



※尚、本申込みに関する個人情報は、本講演会の運営以外に使用することは一切ありません。  
CPDS 証明書発行については有料です。  
詳細は沖縄会HP（<http://www.jsce-oki.tec.u-ryukyu.ac.jp>）をご参照ください

【参加申込方法】 参加申込書をFAXまたはメールにて送付  
土木学会西部支部沖縄会事務局（一般社団法人沖縄しまたて協会企画部内）  
FAX: 098-874-5301 E-mail: [dobokuoki-jim@shimatate.or.jp](mailto:dobokuoki-jim@shimatate.or.jp)

【申込締め切り】 令和5年8月24日（木） ※ 定員 80名（定員に達し次第締め切ります）



# 2023年度土木学会西部支部沖縄会技術講習会

## 亜熱帯海洋性気候におかれた コンクリート構造物に対する沖縄での取り組み

### 日時

2023年9月7日（木） 14:00～17:00

(受付開始：13:15)

### 会場

琉球大学研究者交流施設・50周年記念館 1F 多目的室AB

【主催】土木学会西部支部沖縄会

【共催】琉球大学工学部附属地域創生研究センター

エンジニアリングソリューションズ部門

エコマテリアルズ・インフォマティクス研究部門

【参加料】無料（要事前申込）※本講習会はCPD/CPDS対象講習です。

### 第1部 FAセメントのポストテンションPCT桁への適用性について

- ・循環型社会形成に向けたセメント産業の取組みとFAセメントの基本性能（仮）

講師：琉球セメント（株） 比屋根 方新

- ・ポストテンションPCT桁の高耐久化に向けたFAコンクリート配合および施工マニュアル（案）の説明

講師：（一社）プレストレスト・コンクリート建設業協会

柴田 和典

※FA：フライアッシュ

### 第2部 暑中コンクリートに関する取り組み

- ・沖縄県生コンクリート工業組合における暑中コンクリートへの取組みについて

講師：沖縄県生コンクリート工業組合 比嘉 圭二郎

- ・沖縄県のコンクリート温度の実態調査および機械学習による温度予測とその展開

講師：琉球大学教授 山田 義智

申込先・お問い合わせ： TEL: 098-879-2087 FAX: 098-874-5301

土木学会西部支部沖縄会 •E-mail: dobokuoki-jim@shimatate.or.jp

(沖縄しまたて協会内)

# 参加申込書

令和 5年 月 日申込

フリガナ	
団体名	
住所	
電話番号	
E-mail	

※参加される方の氏名を下記に記入してください。（受講証明書が必要な方は○で囲んでください）

フリガナ		希望証明書
氏名		CPD / CPDS
フリガナ		希望証明書
氏名		CPD / CPDS
フリガナ		希望証明書
氏名		CPD / CPDS
フリガナ		希望証明書
氏名		CPD / CPDS
フリガナ		希望証明書
氏名		CPD / CPDS
フリガナ		希望証明書
氏名		CPD / CPDS

※尚、本申込みに関する個人情報は、本講演会の運営以外に使用することは一切ありません

CPDS 証明書発行については有料です。

詳細は沖縄会HP（<http://www.jsce-oki.tec.u-ryukyu.ac.jp>）をご参照ください。

【参加申し込み】 土木学会西部支部沖縄会事務局（一般社団法人 沖縄しまたて協会企画部内）  
FAX：098-874-5301 TEL: 098-879-2087 E-mail: [dobokuoki-jim@shimatate.or.jp](mailto:dobokuoki-jim@shimatate.or.jp)

【申込締め切り】 令和5年8月31日（木）※定員50名（定員に達し次第締め切ります）

第1部の「ポストテンションPCT桁の高耐久化に向けたフライアッシュコンクリート配合および施工マニュアル（案）」は、QRコードまたは、以下のURLからダウンロードできます。



[https://sm1039.skr.u-ryukyu.ac.jp/center2020/wp-content/uploads/2023/01/PC\\_report.pdf](https://sm1039.skr.u-ryukyu.ac.jp/center2020/wp-content/uploads/2023/01/PC_report.pdf)

**令和5年度 予算書(案)**  
**一 般 会 計**

(単位:円)

収支科目	令和4年度 予算額(a)	令和5年度 予算額(b)	差異(a)-(b)	備考
<b>I 事業活動収支の部</b>				
<b>1.事業活動収入</b>				
(1)会費収入	350,000	360,000	△ 10,000	
①法人	350,000	360,000	△ 10,000	R5団体会員 計72社
(2)ランチ支援金	120,000	120,000	0	
①ランチ支援金	120,000	120,000	0	支部交付金(発信する会へ)/参考値:R4
(3)事業収入	51,000	51,000	0	
①行事収入	51,000	51,000	0	
①-1総会会費収入	0	0	0	
①-2定例会会費収入	0	0	0	
①-3講演講習会収入	39,000	39,000	0	
①-4研究調査発表会収入	12,000	12,000	0	
①-5会議費				
(4)雑収入	0	0	0	
①受取利息・配当金	0	0	0	
(5)繰入金収入	0	0	0	
①支所繰入金収入	0	0	0	
<b>事業活動収入(A)</b>	<b>521,000</b>	<b>531,000</b>	<b>△ 10,000</b>	
<b>2.事業活動支出</b>				
(1)事業費支出	978,000	588,000	390,000	
①講習会費	590,000	200,000	390,000	講演会、講習会、会場借上げ費等
②研究発表会費	61,000	61,000	0	会場借上げ費、記念品等
③広報費	200,000	200,000	0	橋の日・土木の日、ホスター郵送費
④現場見学会費	90,000	90,000	0	バス借上げ費等
⑤その他、総会	37,000	37,000	0	配布資料印刷・郵送費等
⑥拠出金	0	0	0	
(2)管理費	35,000	35,000	0	HP管理費等、残高証明書等
(3)繰越金支出	0	0	0	
①特別会計繰越支出	0	0	0	
<b>事業活動支出計(B)</b>	<b>1,013,000</b>	<b>623,000</b>	<b>390,000</b>	
<b>事業活動収支差額(C)=(A)-(B)</b>	<b>△ 492,000</b>	<b>△ 92,000</b>	<b>△ 400,000</b>	
<b>II.投資活動収支の部</b>				
<b>1.投資活動収入</b>				
(1)特定貯金取崩収入	0	0	0	
①支部運営積立貯金取崩収入	0	0	0	
<b>投資活動収入計(D)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>2.投資活動支出</b>				
(1)固定資産取得支出	0	0	0	
(2)特定貯金支出	0	0	0	
①支部運営積立貯金支出	0	0	0	
<b>投資活動支出計(E)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>投資活動収支差額(F)=(D)-(E)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>III.予備費支出(G)</b>				
<b>当期収支差額(H)=(C)+(F)+(G)</b>	<b>△ 492,000</b>	<b>△ 92,000</b>	<b>△ 400,000</b>	
<b>前期繰越収支差額(I)</b>	<b>665,569</b>	<b>373,884</b>	<b>291,685</b>	
<b>次期繰越収支差額(H)+(I)</b>	<b>173,569</b>	<b>281,884</b>	<b>△ 108,315</b>	



## 土木学会 会員(フェロー・正会員・学生会員)名簿

No.	氏名	資格	勤務先名	備考
1	新城 俊也	フェロー	琉球大学	
2	矢吹 哲哉	フェロー	琉球大学	
3	Holdcroft Gareth Luke	正会員	ギルベインジャパン合同会社	
4	赤嶺 光秀	正会員	(株)トミコン	
5	安佐 伊弘 貴	正会員	(株)アスコ大東	
6	安佐 伊弘 義子	正会員	(株)三矢エンジニアリング	
7	安佐 伊弘 和	正会員	(株)三矢エンジニアリング	
8	後仲 伸筋 和則	正会員	(株)南城技術開発	
9	有住 康則	正会員	琉球大学	
10	安藤 徹哉	正会員	琉球大学	
11	石井 稔之司	正会員	大成建設(株)	
12	石川 孝光	正会員	大洋土木コンサルタント	
13	井田 光孝	正会員	(株)沖縄エネテック	
14	井上 昭正	正会員	沖縄職業能力開発大学校	
15	伊良波 繁雄	正会員	(株)ホープ設計	
16	入部 綱清	正会員	琉球大学	
17	岩村 俊平	正会員	(株)エコー	
18	上原 哲哉	正会員	(株)大林組	
19	上山 昭博	正会員	前田建設工業(株)	
20	上山 淳	正会員	極東建設(株)	
21	宇座 俊吉	正会員	琉球大学	
22	遠藤 仁彦	正会員	防衛省	
23	大城 武隆	正会員		
24	大底 一志	正会員	(資)沖土質コンサルタント	
25	大田 清志	正会員	総合設計コンサルタント	
26	押川 渡宏	正会員	琉球大学	
27	親泊 宏	正会員	(有)ホープ設計	
28	垣花 寿	正会員	川田建設(株)	
29	風間 洋	正会員	アール・アンド・エー	
30	嘉手苅 勝章	正会員	(有)構研テクノス	
31	加藤 祐介	正会員	琉球大学	
32	神谷 大信	正会員	琉球大学	
33	神崎 貴之	正会員	(株)ホープ設計	
34	川崎 榮之	正会員	(株)エコー	
35	川満 康行	正会員	(株)大栄コンサルタント	
36	神田 昭男	正会員	琉球大学	
37	菊池 志幸	正会員	琉球大学	
38	具志 良久	正会員	その他	
39	久米 仁司	正会員	(株)南伸	
40	小島 肇	正会員	琉球大学	
41	小杉 佳良	正会員	(株)復建エンジニアリング	
42	小波 政良	正会員	(株)沖技	
43	小林 文男	正会員	(株)海邦技研	
44	呉屋 健一	正会員	沖縄県	
45	酒井 一行	正会員	防衛省 沖縄防衛局	
46	崎原 康平	正会員	琉球大学	
47	崎山 将	正会員	(株)大林組	
48	佐々木 秀尚	正会員	五洋建設(株)	
49	佐藤 武司	正会員	清水建設(株)	
50	佐野 誠一	正会員	沖電開発(株)	
51	下里 哲弘	正会員	琉球大学	
52	庄司 優一	正会員	沖縄企画開発(株)	
53	庄司 興夫	正会員	(有)沖縄環境地域コンサルタント	
54	城間 敏博	正会員	(株)南城技術開発	
55	城間 通彦	正会員	西日本高速道路総合サービス沖縄(株)	
56	末吉 常彦	正会員	極東建設(株)	
57	鈴木 康治	正会員	鹿島建設(株)	
58	須田 裕哉	正会員	琉球大学	
59	砂川 章次	正会員	(株)中央建設コンサルタント	
60	砂川 徹男	正会員	(株)沖縄建設技研	
61	角 翼	正会員	前田建設工業(株)	
62	瀬戸内 秀規	正会員	琉球大学	
63	田井 政行	正会員	琉球大学	
64	竹田 義徳	正会員	鹿島建設(株)	
65	玉城 喜章	正会員	(一社)沖縄しまたて協会	
66	知念 正昭	正会員	その他	
67				

## 土木学会 会員(フェロー・正会員・学生会員)名簿

No.	氏名	資格	勤務先名	備考
68	津嘉山 正光	正会員	琉球大学	
69	筒井 茂明	正会員	琉球大学	
70	寺西 淳次	正会員	西松建設(株)	
71	渡嘉敷 直彦	正会員	琉球大学	
72	渡久山 盛幸	正会員	(株)レキオコンサルタント	
73	富山 潤三	正会員	琉球大学	
74	仲座 栄三	正会員	琉球大学	
75	中野 拓治	正会員	琉球大学	
76	西里 好文	正会員	(株)アジア技研	
77	西谷 朋晃	正会員	西日本高速道路(株)	
78	西銘 稔	正会員	(有)琉興建技コンサルタント	
79	波多野 想喜	正会員	琉球大学	
80	比嘉 定春	正会員	(株)中央建設コンサルタント	
81	樋口 春樹	正会員	東急建設(株)	
82	比屋根 方新	正会員	琉球セメント(株)	
83	廣瀬 孝三	正会員	琉球大学	
84	福島 新彦	正会員	日本工営(株)	
85	藤川 佳彦	正会員	(株)ジェイテック	
86	藤本 秀勝	正会員	西日本高速道路総合サービス沖縄(株)	
87	淵脇 秀晃	正会員	琉球大学	
88	古川 道也	正会員	電源開発(株)	
89	細見 暁彦	正会員	内閣府(沖縄総合事務局)	
90	町田 喜代寿	正会員	東亜建設工業(株)	
91	松浦 葵仁	正会員	(株)日本ビーエス	
92	松原 仁	正会員	琉球大学	
93	三島 理敏	正会員	内閣府(沖縄総合事務局)	
94	宮城 敏明	正会員	(株)沖縄建設技研	
95	宮城 幸雄	正会員		
96	宮国 敏秋	正会員	(株)中央建設コンサルタント	
97	宮野 伸介	正会員	(株)技建	
98	宮良 工博	正会員	(財)沖縄県環境科学センター	
99	望月 博司	正会員	(株)国建	
100	諸見 里朋子	正会員	一般社団法人沖縄しまたて協会	
101	矢崎 敦義	正会員	東洋建設(株)	
102	安元 純	正会員	琉球大学	
103	山内 修伸	正会員	(株)大米建設	
104	山路 伸悟	正会員		
105	山田 義智	正会員	琉球大学	
106	山中 亮	正会員	(株)中央建設コンサルタント	
107	与儀 喜章	正会員	(株)沖縄建設技研	
108	吉次 優祐	正会員	(株)富士ビー・エス	
109	與那原 利行	正会員	(資)進藤土質調査	
110	与那嶺 満	正会員	応用地質(株)	
111	米藏 敏博	正会員	(株)翔土木設計	
112	米嶋 修平	正会員	北斗設計(株)	
113	渡邊 康志	正会員	GIS沖縄研究室	
114	和仁 屋晴	正会員		
115	川島 将太	正会員	大日本コンサルタント(株)	

沖繩会特別会員B名簿(団体会員)

番号	会社名	代表者	構成員数	備考
1	(一財)港湾空港総合技術センター沖繩支部	支部長 崎間 敏男	2	
2	西日本高速道路(株)九州支社 沖繩高速道路事務所	副所長 田中 康一郎	2	
3	(一社)日本道路建設業協会 沖繩支部	支部長 与那嶺 恵伸	2	
4	日本ファブテック 株式会社 沖繩営業所	所長 平良 博孝	2	
5	株ピーエス三菱 沖繩営業所	所長 赤嶺 文繁	2	
6	(株)大本組 沖繩営業所	所長 鍋島 委己	3	
7	前田建設工業(株)九州支店 沖繩営業所	所長 若林 昭彦	1	
8	佐藤工業(株)沖繩営業所	営業所長 田中 鉄郎	1	
9	(株)安部日鋼工業 沖繩営業所	営業所長 国吉 正哉	1	
10	極東興和(株)沖繩営業所	所長 田原 俊彦	1	
11	東急建設(株)沖繩営業所	所長 岩崎 幹雄	1	
12	(株)鴻池組 沖繩営業所	所長 鮫島 秀喜	2	
13	東亜建設工業(株)	所長 町田 喜代寿	2	
14	(株)小波津組	代表取締役社長 小波津 英正	18	
15	(公財)沖繩県建設技術センター	理事長 桃原 一郎	3	
16	川田工業(株)沖繩営業所	所長 比嘉 智	1	
17	(株)大林組 九州支店 沖繩営業所	沖繩営業所長 石原 救	2	
18	東洋建設(株)沖繩営業所	所長 堀井 洋佑	2	
19	琉球開発(株)	社長 宮城 久雄	2	
20	鹿島道路(株)沖繩営業所	所長 箴島 寿浩	1	
21	西松建設(株)沖繩支店	所長 吉田 卓生	1	
22	(株)大栄建設	代表取締役社長 国吉 修	2	
23	(株)高橋土建	代表取締役社長 玉城 俊夫	2	
24	(株)大城組	代表取締役社長 仲西 聰	2	
25	若築建設(株)	所長 諸見川 和也	1	
26	コーアツ工業(株)	沖繩営業所長 友利 和隆	1	
27	飛鳥建設(株)沖繩営業所	所長 長谷部 聡	1	
28	(一社)沖繩県建設業協会	会長 津波 達也	2	
29	(一社)沖繩県測量建設コンサルタント協会	会長 砂川 健治	2	
30	(株)大寛組	代表取締役 大濱 均	1	
31	(一社)沖繩しまたて協会	理事長 木下 誠也	4	
32	沖繩電力(株)	配電部長 阿波根 直也	2	
33	沖繩県港湾空港建設協会	会長 座波 博史	2	
34	(株)富士ビー・エス沖繩営業所	平良 善則	1	
35	(株)TTES	代表取締役 菅沼 久忠	1	
36	(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会 九州支部	九州支部長 油田 康生	2	
37	川田建設(株)沖繩営業所	所長 伊志嶺 作二	1	
38	五洋建設(株)九州支店 沖繩営業所	所長 佐々木 秀尚	1	
39	宮地エンジニアリング(株)沖繩営業所	営業所長 村島 康文	1	
40	(株)中央建設コンサルタント	代表取締役 砂川 章次	2	
41	(株)沖繩環境保全研究所	代表取締役 平良 辰二	2	
42	株式会社 沖 技	代表取締役社長 平良 聡	14	
43	株式会社 ナカボーテック 沖繩営業所	所長 飛鳥 齊	2	
44	オリエンタル白石株式会社 沖繩営業支店	白石 俊夫	2	
45	牧港建設(株)	代表取締役 山田 浩邦	1	
46	南洋土建(株)	代表取締役社長 玉城 常二	14	
47	株式会社 技建	宮野 伸介	12	
48	(株)南城技術開発	代表取締役 城間 敏夫	14	
49	沖繩ピーシー(株)	代表取締役社長 砂川 尚男	4	
50	永技研株式会社	代表取締役社長 前里 幸三	5	
51	(株)横河ブリッジ那覇営業所	所長 真喜志 一寛	1	
52	NPO法人グリーンアース	代表理事 鈴木 浩一	4	
53	西日本プラント工業(株)福岡事業所	所長 山口 健一	6	
54	株式会社安藤・間 沖繩営業所	営業所長 片岡 善行	3	
55	(株)仲本工業	代表取締役 仲本 豊	2	
56	琉球セメント株式会社	代表取締役社長 喜久里 忍	2	
57	株式会社沖繩建設新聞	代表取締役社長 古謝 昇	1	
58	株式会社 オカベメンテ	代表取締役 岡部 成行	1	
59	西日本高速道路 総合サービス沖繩株式会社	代表取締役社長 藤本 秀勝	2	
60	鉄建建設株式会社九州支店 沖繩営業所	沖繩営業所長 大園 光義	2	
61	金秀鉄工株式会社	代表取締役 川満 彦三	1	
62	株式会社 ホープ設計	代表取締役社長 親泊 宏	1	
63	株式会社 南伸	代表取締役 久米 仁司	1	
64	株式会社 国建	代表取締役社長 比嘉 盛朋	1	
65	東京ファブリック工業株式会社	事業本部長 丸山 正博	1	
66	株式会社 アジア技研	代表取締役 与那覇 紀	1	
67	沖繩県生コンクリート工業組合	理事長 島袋 等	1	
68	有限会社 開南建技	代表取締役 饒平名 義則	1	
69	東洋アルミニウム株式会社 新事業創造部	執行役員新事業創造部長 大久保 嘉彦	1	
70	株式会社 沖繩建設技研	代表取締役 宮城 敏明	1	
71	株式会社IHIインフラシステム沖繩営業所	所長 明比 幸造	1	
72	株式会社不動産テトラ 沖繩営業所	営業所長 河野 有司	1	
		小計	192	
	防衛省 沖繩防衛局	調達部長 白幡 申明	2	
	沖繩県 土木建築部	沖繩県 土木建築部長 前川 智宏	5	
	沖繩総合事務局	沖繩総合事務局 次長 河南 正幸	5	
	(独)都市再生機構 沖繩都市再生事務所	所長 澤 卓史	2	
	日本工営(株)	代表取締役 廣瀬 典昭	2	
		小計	16	
		合計	208	